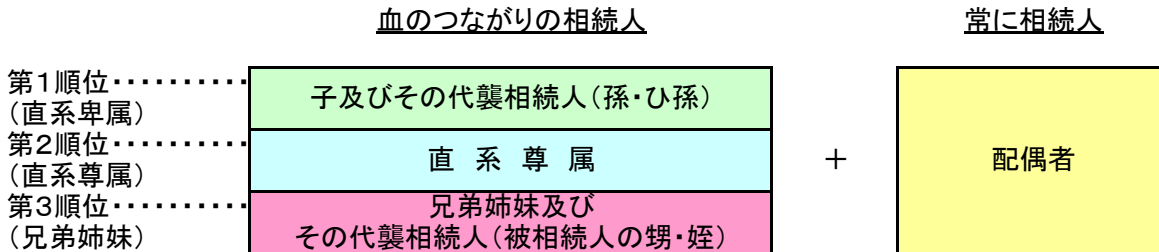


■ **ここでは、相続人の順番と範囲をみていきたいと思います。**

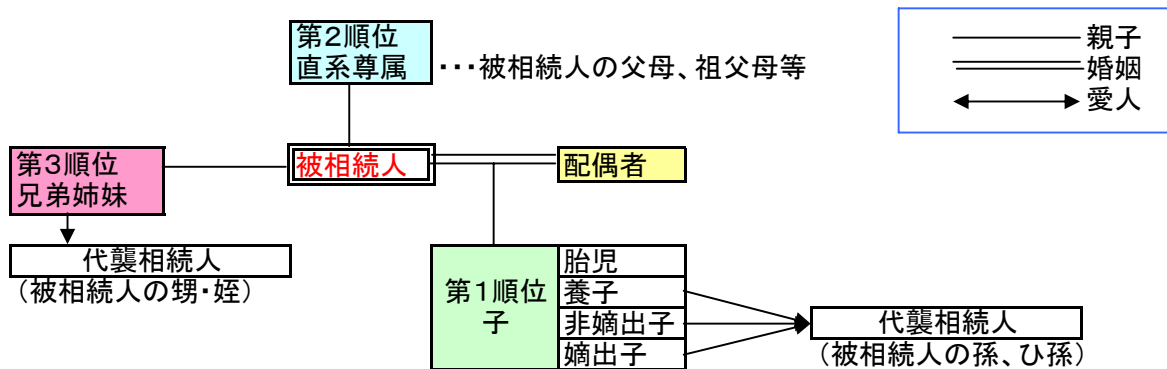
配偶者は必ず相続人になれます。やはり、相続人と一緒に財産を作ってきた者ですから。では、配偶者以外で相続人の順番は、子供 → 両親 → 兄弟姉妹の順になります。この順番も相続人の財産形成の貢献の順番ですね。

◎**相続人の順番**



- *直系卑属とは、被相続人からみて血のつながりが真直ぐ下に伸びる人を指します。
- *直系尊属とは、被相続人からみて血のつながりが真直ぐ上に伸びる人を指します。
- *代襲相続人は、相続人となる人の代わりに相続人となる人のことです。以前死亡・欠格・廃除により、代替りの人が相続人になります。

◎**相続人になれる人**



*代襲相続となる原因

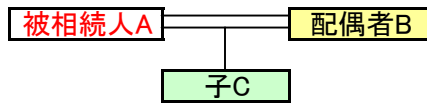
代襲相続となる原因は、次のケースです。

- ①以前死亡＝親が被相続人より先になくなっているケースです。
- ②欠格＝被相続人を故意により殺害し死亡等させたため相続人の権利を失ったケースです。
- ③廃除＝欠格までひどくはないですが、被相続人を虐待させた等の理由により、相続人の権利を失ったケースです。

・相続人 1番目…子及び配偶者

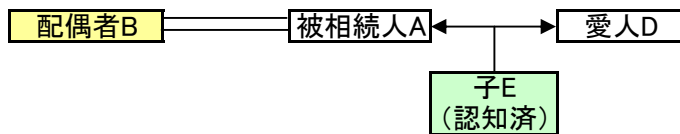
子供では、通常の結婚関係で生まれた子、愛人との間で生まれた子で認知された子、養子縁組で子となった人などがおります。
相続人順位は1番目です。

(1) 嫡出子



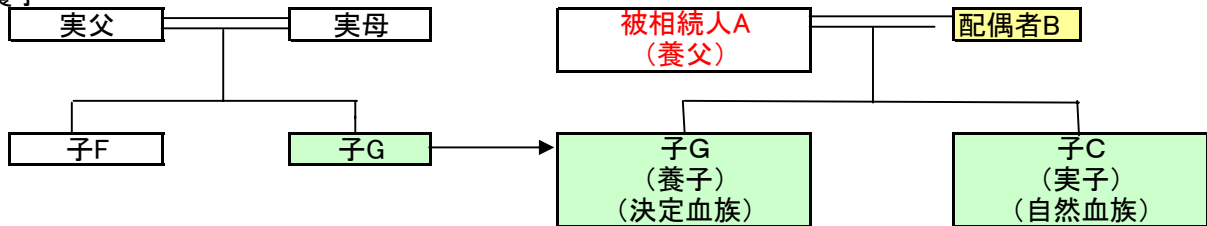
*相続人はCとB

(2) 非嫡出子



*相続人はEとB

(3) 養子

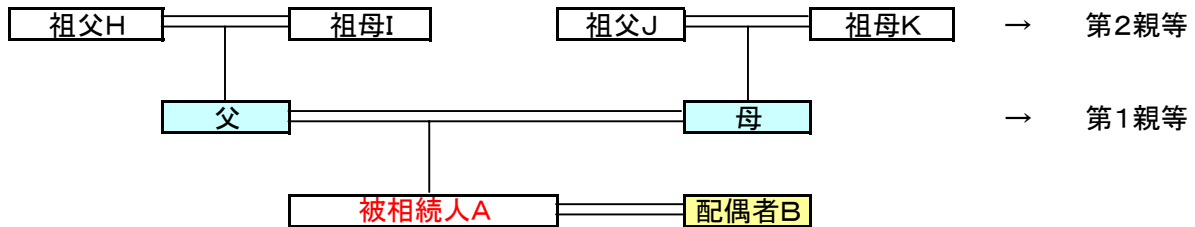


相続人はGCとB

・相続人 2番目・・・直系尊属及び配偶者

(例1) 通常の婚姻関係

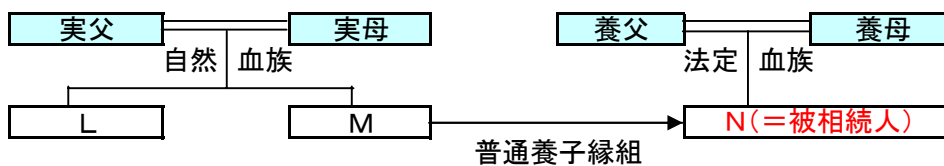
この例では、父・母が2番目として相続人になります。
(父・母が死亡の場合は、祖父母が相続人)



*相続人は父母とB

(例2) 被相続人が普通養子の場合

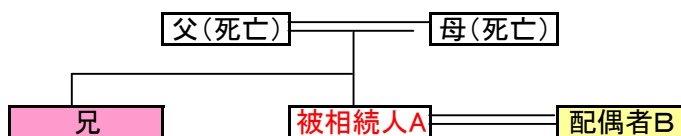
この例では被相続人が養子縁組をしているので、実父母・養父母が2番目として相続人になります。



*相続人は実父・母と養父・母

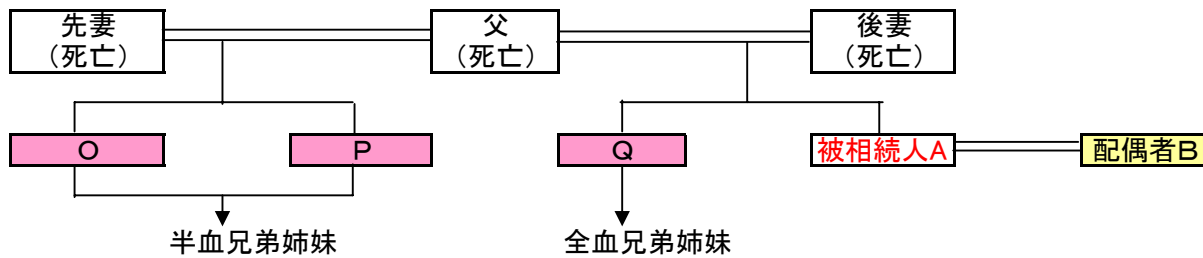
・相続人3番目・・・兄弟姉妹及び配偶者

(例1)



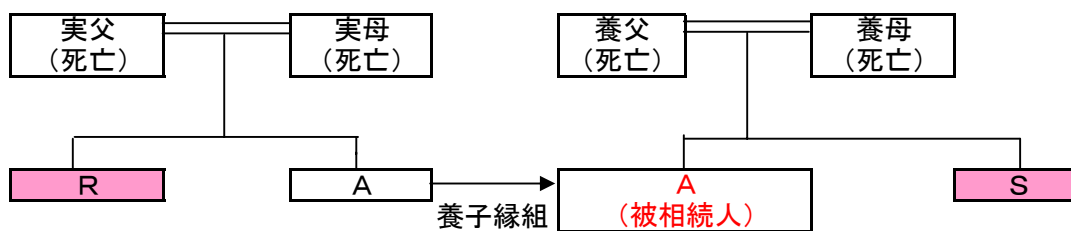
*相続人は兄とB

(例2) 全血兄弟姉妹と半血兄弟姉妹



*相続人はOPQとB

(例3) 被相続人が養子の場合

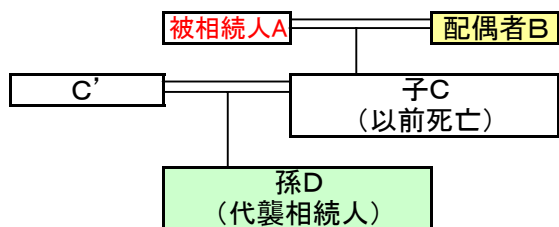


*相続人はRS

◎代襲相続

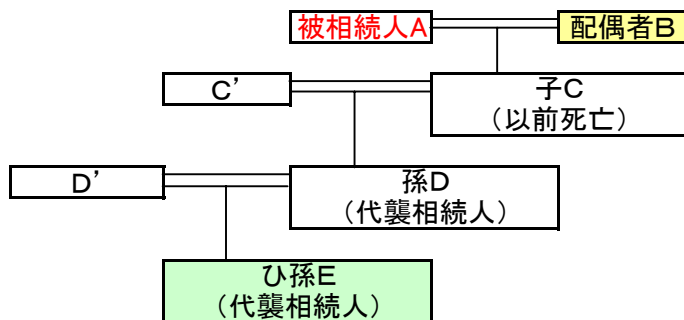
・第1順位

(例1) 第1順位の相続人の1回目の代襲の例



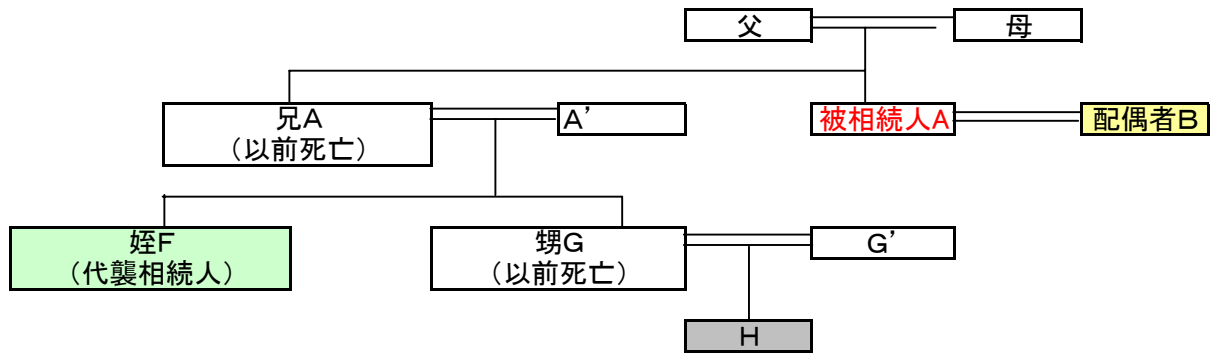
*相続人はDB

(例2) 第1順位の相続人の2回目の代襲の例



*相続人は、EB

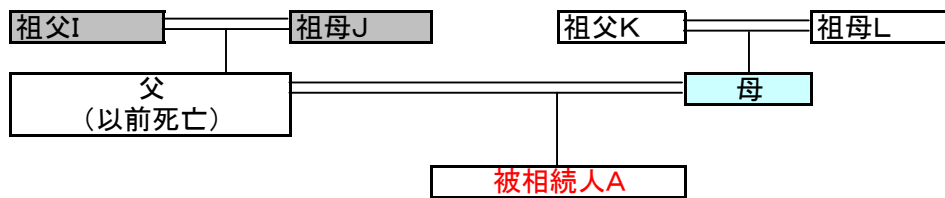
・第3順位



*相続人はFB

Hは再代襲のため相続人になれません

・第2順位



*相続人は母

*祖父Iと祖母Jは、母が第2順位相続人となるため、相続人になれません
(直系尊属に代襲という考えはありません)